

# 名家連ニュース

平成 29 年 2 月 7 日 (火)  
 発行：特定非営利活動法人  
 名古屋市精神障害者家族会連合会  
 会長 堀田 明  
 TEL/FAX (052) 846-5576 NO. 443 号

## 《障害年金ガイドライン解説》(その8) 日常生活能力の程度 医師向けの障害年金の診断書(精神の障害用)記載要領より

### — 「日常生活能力の程度」(5段階評価) —

(1)	<p>精神障害を認めるが、社会生活は普通にできる。</p> <p>○適切な食事摂取、身の清潔保持、金銭管理や買い物、通院や服薬、適切な対人交流、身の安全保持 や危機対応、社会的手続きや公共施設の利用などが自発的にできる。あるいは適切にできる。</p> <p>○精神障害を持たない人と同じように日常生活及び社会生活を送ることができる。</p>	日常生活能力4段階評価の「できる」に相当
(2)	<p>精神障害を認め、家庭内での日常生活は普通にできるが、社会生活には援助が必要である。</p> <p>○(1)のことが概ね自発的にできるが、時に支援を必要とする場合がある。</p> <p>○例えば、一人で外出できるが、過大なストレスがかかる状況が生じた場合に対処が困難となる。</p> <p>○日常的な家事をこなすことはできるが、状況や手順が変化したりすると困難が生じることがある。身の清潔保持は困難が少ない。ひきこもりは顕著ではない。自発的な行動や、社会生活の中で発言が適切に出来ないことがある。行動のテンポはほぼ他の人に合わせることができる。普通のストレスでは症状の再燃や悪化が起きにくい。金銭管理は概ねできる。社会生活の中で不適切な行動をとってしまうことは少ない。</p>	日常生活能力4段階評価の「自発的にできる」に相当
(3)	<p>精神障害を認め、家庭内での単純な日常生活はできるが、時に応じて援助が必要である。</p> <p>○(1)のことは行うためには、支援を必要とする場合が多い。</p> <p>○例えば、医療機関等に行くなどの習慣化された外出は付き添われなくても自らできるものの、ストレスがかかる状況が生じた場合に対処することが困難である。食事をバランスよく用意するなどの家事をこなすために、助言などの支援を必要とする。身の清潔保持が自発的かつ適切にはできない。対人交流が乏しいか、ひきこもっている。自発的な行動に困難がある。日常生活の中での発言が適切にできないことがある。行動のテンポが他の人と隔たってしまうことがある。ストレスが大きいと症状の再燃や悪化を来しやすい。金銭管理ができない場合がある。社会生活の中でその場に適さない行動をとってしまうことがある。</p>	日常生活能力4段階評価の「自発的にできる」又は「自発的にできない」に相当
(4)	<p>精神障害を認め、日常生活における身のまわりのことも、多くの援助が必要である。</p> <p>○(1)のことは経常的な援助がなければできない。</p> <p>○例えば、親しい人間がいらないか、あるいはいても家族以外は医療・福祉関係者にとどまる。自発性が著しく乏しい。自発的な発言が少なく発言内容が不適切であったり不明瞭であったりする。日常生活において行動のテンポが他の人のペースと大きく隔たってしまう。些細な出来事で病状の再燃や悪化を来しやすい。金銭管理は困難である。日常生活の中でその場に適さない行動をとってしまいがちである。</p>	日常生活能力4段階評価の「自発的にできない」に相当
(5)	<p>精神障害を認め、身のまわりのこともほとんどできないため、常時の援助が必要である。</p> <p>○(1)のことは援助があってもほとんどできない。</p> <p>○入院・入所施設内においては、病棟内・施設内で常時個別の援助を必要とする。在宅の場合においては、医療機関等への外出も自発的にできず、付き添いが必要であったり、往診等の対応が必要となる。家庭生活においても、適切な食事を用意したり、後片付けなどの家事や身の清潔保持も自発的には行えず、常時の援助を必要とする。</p>	日常生活能力4段階評価の「できない」に相当

### 「心の健康フェスタなごや」3月4日(土)イオンタウン千種 午前10時30分～

家族相談室に各家族会用のチラシが用意してあります。電話相談の折に必要な枚数をお持ち帰りいただき会員・本人など周りの方々にご紹介ください。

